

日 時 平成28年11月5日（土）19:00～21:00

場 所 志津南市民センター多目的室

出席者（会長）中原 （副会長）大上、高岡、舟木

（町内会長）佐々木(代理・若草一丁目町内会副会長)、金馬、小川、秋本、黒田、山中、
横山、川瀬、白石、小林、桑原

（グループ代表）鈴木、斎藤、中西 （事務局）妹尾、長谷川

（市民センター）一浦

<敬称略>

1. 各種団体のヒアリング

第2回として、交通防犯委員会、民生委員児童委員協議会、青少年育成委員会、人権教育推進委員会について実施。内容については「第2回ヒアリング実施記録」を参照のこと。

2. 報告・連絡事項

(1) 会長から

①平成28年度草津市総合防災訓練への参加について

平成28年度草津市総合防災訓練が、11月20日（日）に笠縫東小学校で開催される。消防車や救急車も出動しての総合防災訓練の中で、避難所運営訓練に各学区から5名の参加要請がきている。→鈴木さんが参加。

②愛知県長久手市からの視察研修について

愛知県長久手市からの視察研修が10月28日(金)にあった。長久手市は、名古屋市の東隣の市。これからまちづくり協議会を設立しようという動きがあり、自治会連合会長・区長の9名と、長久手市職員4名が先進地研修として訪問された。草津市まちづくり協働課からは、草津市としてのこれまでのまちづくり協議会設立の取り組みや支援、今後の課題について説明された。私からは、自治連合会の解散、まちづくり協議会の発足など、経緯と現状などを、会則、まちづくり指標・行動計画、総会資料などに基づいて説明した。その後、質疑応答となり、活発な意見が出てきた。自治会連合会があり、それをどのようにまちづくり協議会に移行するのかというところが悩まれているようだった。一括交付金の制度について、以前は各団体に市のそれぞれの部署から補助金や助成金などがでていたが、合計の金額が一括してまちづくり協議会に交付されるようになり、まちづくり協議会としてはそれを柔軟に使えるようになった。その辺りの質問もたくさん出た。

(2) 各町内会・各グループ・事務局から

①文化体育G（ふれあい推進委員会）

12月4日(日)に開催される「みなくさままつり」に、「ダンボール迷路」で参加する。先週の月曜日に配布したチラシにみなくさままつりの内容が掲載されている。町内の住民の方から、ブースの場所などの問い合わせがあればお答えいただきたい。また、みなくさままつりのポスターの掲示をお願いしたい。

【中原】みなくさままつりは、南草津駅の西口を中心に開催され、今年が第6回となる。2011年3月に南草津駅に新快速が止まるようになり、それを記念して、草津市、商工会議所、立命館大学が中心になって「みなくさままつり」が計画されたが、3月11日の東日本大震災で中止となった。しかしながら、せっかくの計画がなくなるのは惜しいということで、11月に実施した。当初は一回きりの記念イベントだったが、来場者も多く好評であったということで、地域団体や企業等の協力も得て、毎年開催されることになった。

【大上】副会長以外の役員の協力は必要ないのか？

【中西】いろんな団体に手伝いをいただいているルートがあり、今回もそちらにお願いしていて、立命館大学の学生にもお手伝いいただくので、今のところ町内会からの協力は結構です。

②暮らし安心G（環境美化委員会）

今年最後の一斉清掃が11月27日(日)にあるので、ご協力願います。各町内会長宛に、「ごみ問題を考える市民会議」から案内がきていると思うが、若草・岡本西地区は破棄していただいて結構です。追分南地区についてはそれぞれの町内会等で対処して下さい。

以上

日時 平成28年11月5日(土) 19:00~20:45

場所 志津南市民センター多目的室

出席者(会長) 中原 (副会長) 大上、高岡、舟木

(町内会長) 佐々木(代理・若草一丁目副会長)、金馬、小川、秋本、黒田、山中、横山、川瀬、白石、小林、桑原

(グループ代表) 鈴木、斎藤、中西 (事務局) 妹尾、長谷川

(市民センター) 一浦

<敬称略>

1. 交通防犯委員会(堀切委員長)

活動としては、ふれあい夏まつりのパトロール、7月の終わりから9月にかけての絵画コンクール、10月の交通防犯啓発活動としてパンフレットやティッシュ等の配布、カーブミラーの点検、道路のペインティングの状態確認などです。

【中原】絵画コンクールは、去年は応募者33名にとどまったとあるが、今年はどうだったのか。

【堀切】600数十名に配布し、51名の参加があった。予算的にはオーバーしたが、それだけ興味を持っていただけたと思う。

【佐々木】小学校に依頼していないのは何か理由があるのか。

【堀切】一応、子ども会を通した。以前は名簿があったが、個人情報の問題があり、子ども会から頂いた名簿は、個人情報は一切漏れないように、この事業が終了した時点で破棄した。町内会に依頼しても、町内会長自身がその町内会に子どもがどれだけいるのか把握していないようなので、子ども会にお願いした。

【斎藤】子ども会というと、若草・岡本西とかがやきの丘と・・・、コージーガーデン自治会や追分鴨田町内会は？

【堀切】追分南町内会、コージーガーデン自治会、追分鴨田町内会は、町内会長にお願いした。

【斎藤】まんべんなく、全部に渡したということ。

【堀切】全部に渡るようにした。よって、600数十名ということである。

【秋本】今年の予算額は？

【中原】今年の予算は、絵画コンクールで5万円、ふれあい夏まつりの防犯パトロールのお茶代で5000円、路面の横断歩道の補修費7000円、印刷コピー代で3000円、合計6万5000円の予算がついている。

【堀切】今年の実績は、今のところ5万265円。この中にコピー代が入っていないので、あと数千円増える。

【斎藤】横断歩道の補修というのは？

【堀切】補修ではなく、どういうところが消えているのかだけを確認して、まち協にお願いする。

【中原】補修費として見込んでいるが、横断歩道の左右確認のシールでは？

【堀切】十字路の白い十字マークが消えていないかのチェック。

【中原】それは、市の道路課に依頼することになる。ここが消えている、ここが薄いなどという状況を地図に落とし込んで、交通防犯委員会として道路課に依頼してもらうことになる。

【堀切】左右確認のシールもチェックするのか？

【中原】横断歩道に貼ってあるシールは、前にも貼り換えを交通防犯委員会がしていた。シールの材料代などが、この補修費7000円の中に見込まれている。全体で6万5000円の予算がついており、各項目の間でやりくりしてもらって、全体で予算額を超える場合には、事前に理事会に申し出てもらって、理事会で承認が出れば、追加分が交付される。補修が多数あったなどで、予算額に収まりきれない場合は、事前に事務局を通じて予算の追加申請をしてください。

【舟木】30km/h規制について。プラス薬局から東公園までのところだが、通勤の車の抜け道になっている。規制ラインをひいてもらったが、殆ど効果がない。特に若草五丁目のゴミ捨て時が怖い。改善策を検討頂きたい。

【堀切】今、各町内会から挙げてもらうようにしている。若草一丁目町内会としては、朝丁字路からかがやき通りに出られない。黄色のペインティングをしてもらったが、そこに車が止まってしまう。そこをなんとかしてほしいという意見も出ている。今年中に意見をまとめてお願いすることになる。

【舟木】若草五丁目も、いつか事故が起こる。この間も、東公園前の交差点で正面衝突の大きな事故があった。改善策を申請するためには実態調査のデータが必要になると思う。

【堀切】交通量調査などですね。考えます。

【舟木】実態調査は、委員会だけでやろうと思っても無理だと思う。事務局からボランティアに動員を頼んでみるのも良いのでは。規制実施の申請時も実態調査が3日間行われたが、緑化ボランティアも動員させてもらった。

【中原】絵画コンクールの対象は小学生だが、この学区の小学生全員が必ずしも志津南小学校には通っていない。附属小学校などの児童もいると思うが。

【堀切】多分子ども会は、志津南小学校の児童だけが対象になっていると思う。

【中原】各町内会にお願いしたところについては、志津南小学校に通っていないところも依頼したか？

【桑原】聞いてはいない。全員、志津南小学校の児童だと思う。

【堀切】子ども会から頂いた名簿は、全員志津南小学校の児童だった。

【斎藤】地域協働合校では、志津南ニュースなどに載せてもらい、目に留めてもらえるような工夫をしている。

【中原】他の小学校に通っている児童はこの地域に友達も少ないので、地域協働合校の行事には参加しないかもしれないが、絵画コンクールは関係ないので、何らかの形で伝達できればと思う。

【黒田】町内の交通安全や防犯で、今どんな課題があるのかという一覧表があるのかどうか。委員会だけで、言われたからといってすぐ解決できるものもあるかもしれないが、ないものもある。そういう場合、どこにどういう風に働きかけをしたらよいかという一覧表と、進捗状況の表があるというのではないか。

【堀切】そのような事は引き継いでいない。交通防犯委員会は、本来はそのような事に重点をもっていった方が良いと思うが、1年という任期の中では難しいし、引き継いだ時点で再スタートになるので継続して取り組むのが難しい。カーブミラーの点検などの程度でしか継続してできない。何か起こった時に、どこにどんな風に届けを出して作業していったら良いかというのが手探り状態。飛び出し坊やがあることによって車が出にくいなどという事は、連絡して少しずつ改善するようにしている。

【川瀬】飛び出し坊やは町内会で申請して、市から2枚もらえた。集約しているのは、交通防犯委員会の役割だと思う。また、防犯カメラは草津市から補助を受けて設置しているが、学区内にいくつ、という形だと思うが、各町内会に案内がきても勝手に申請していいのか分からない。そういうのを取りまとめてもらえたら。

【妹尾】その件については、交通防犯委員会で協議していただき、防犯灯はコーギーガーデン入口の関電柱に1灯、防犯カメラは麒麟堂の前に1台ということになった。防犯灯は2月中に市が一斉に取り付け、防犯カメラは11月21日から工事が始まる。

【斎藤】飛び出し坊やは、管理しているのはPTAだと思うが。

【舟木】安協（草津・栗東交通安全協会）もやっている。

【斎藤】共同で管理しているということか？それとも、これはPTA、これは安協という形か？

【妹尾】基本的にはPTAで、プラスチック製のもの。安協のものは、ベニヤ板をくり抜いたようなものの。

【斎藤】壊れていたりする場合、どこへ連絡すればよいか。

【妹尾】本体に連絡先が書いてある

2. 民生委員児童委員協議会（垣根会長）

民生委員児童委員協議会は13名の委員がそれぞれの担当地区を受け持ち、子どもたちの健やかな成長と、毎日子育てを頑張っている親御さんたちの仲を取り持ったり、見守り活動をしている。志津南学区は高齢者を上回る赤ちゃん・児童がおり、多子高齢化となっている。親子ふれあい広場の行事では、去年は人形劇、今年は体操のお兄さんに来てもらった。子どもに関する支援活動として、4月には入学児童への声掛けとささやかなプレゼントを贈っている。また、クリスマスには、委員で劇を演じた。クリスマスの会場は市民センターだけでなく、追分南会館、かがやきの丘会館、若草第三集会所へも出かけた。町内会未加入のところも活動の対象であり、2200戸余りになる。市から名簿をいただき、もれなく声をかけている。民児協の予算的には何もしていないというのではなく、子育て分野として、年によって違うが3万円ほど出ている。

【中原】5月の理事会で説明したとおり、民生委員児童委員は厚生労働大臣の委嘱を受けて、本来の法律に則った活動をしている。その他に、まちづくり活動の一環として、子育て支援という分野においてこのような活動をしている。

【垣根】主任児童委員が、13名の中に2名いる。赤ちゃんから18歳までを対象としており、その一環で、子育て支援も民児協の活動としてやっている。

【垣根】町内会長と民生委員とで、災害時要援護者の事もあるし、連携をしたい。新年度にそのような機会を作っていただきたい。

【大上】まち協は、全体として子どもに使っているお金は少ないと思う。敬老会に追加予算を認めている一方で、80名の児童・乳幼児が参加している行事に3万円しか使っていない。民児協として補填もしている。必要な物は遠慮なく要求していただいて良いのではないかな。

【中原】多子高齢化ということもあり、来年度以降の活動内容、予算にも反映させてはどうか。

【垣根】子どもは地域の宝でもあるので大事にしていきたい。よろしくお願いします。

3. 青少年育成委員会（永田委員長）

青少年育成委員会の活動は小学生、中学生が対象であり、健全な育成を目指している。挨拶運動推進費は、啓発作品を募集して表彰し、選ばれたものは標語として立て看板を各町内会に設置する。すこやかセミナーは、講師代、交通費、お茶代として使っている。愛の声かけパトロールでは、ベストの交換などに充てている。コーンの交換は、前任者が既に購入しており、連絡があれば交換している。当委員会には、青少年育成市民会議、主張大会、育成大会、みんなでトーク等、様々なところから参加要請がきている。まち協関連では、総会への参画と予算申請、夏まつりのパトロール、蛍鑑賞と餅つきの安全確認などを行っている。学校関連では、月1回の挨拶運動への参加、入学式、卒業式、青少年育成の課題会議、啓発作品の募集依頼などがある。各事業の活動内容は、非行防止活動として声かけパトロール、コーンの設置。育成活動として、すこやかセミナーの立案計画実施をした。今年はコーチングというテーマで行った。広報活動は、草津市とまち協の広報活動、挨拶運動と啓発作品の募集、立て看板の設置・補修などを行っている。啓発作品は473件、立て看板の設置は36箇所。立て看板については、例えば若草六丁目はバス停や集会所に3箇所あるが、人や自転車が当たったりなど、そこに置く必要があるのかどうか、今後検討したい。また、夏まつりのパトロールの報告書を提出したので、回答いただきたい。

【中原】青少年育成委員会という名称は、以前は青少年育成区民会議だった。上部組織として、青少年育成市民会議、青少年育成県民会議がある。市民会議への出席が負担になっているので、市に話をしたが、従来から継続して活動している位置づけなので改善しにくいとのこと。

【永田】市民会議は平日夜7時半から。追分南地区の方は現役なので、対応が難しい。

【舟木】環境美化委員会も、ごみ問題を考える市民会議が度々あり、開催時間も平日の午後3時頃からの開催が多く、出席が難しい。

【斎藤】市民会議の出席者も殆ど現役ではないか。

【永田】いろんなイベントに参加要請がくるが、対象がほとんど全員。誰かが欠席すると資料配布などで更に仕事が増える。

【斎藤】立て看板は、通学時の集合場所に設置するという認識だった。

【永田】応募も小学校だけで、市民センターや町内会には応募はしなかった。

【舟木】愛の声かけパトロールが本日（11/5）実施されていたが、今の時期うろうろしている子どもはほとんどいないのでは。夏場は夜遅くまでいる。実施時期を検討しては？

【永田】計画は早い段階で市に提出しないといけない。

【中原】従来やっている活動が、前例踏襲主義でやっている。今年実施しての意見を吸い上げて改善してはどうか。

【永田】引き継ぎ書を書いておこうと、準備している。計画書と報告書を引き継ぎでもらうが、趣旨がよくわからないまま引き継いでいる。

【大上】コーンも立て看板も、設置基準があれば明白になるのでは。

【永田】我々で設置基準を決めてよいのか、まとめていただけたらと思う。

【中西】夏まつりの報告書は読ませていただいた。ふれあい推進委員会の事務局を通じて申し合わせたい。

【永田】夏まつりの自転車置き場が1箇所だけだった。追分南地区から子どもが自転車で多数くるので、置き場が足りない。また、夏まつり終了後、終了宣言がなければなかなか子どもは帰らない。

【舟木】各委員会が実施している講師の謝礼金だが、常識の範囲でとなっているが、まち協の限られた予算の中での対応となるので、上限を決めてはどうか。

【中原】実績をとりまとめて、検討したい。

4. 人権教育推進委員会（柱谷委員長）

活動内容は、各委員がリーダーとなり人権講座などで学び、人権まちづくりトークで各町にもって帰ってもらい、人権意識を広めていくというもの。去年の資料にある先進地研修会だが、行政の都合やバスの都合で別のものに変更することになった。人権センターに相談して先進地の三重県から講師を呼ぶ話を委員会で提案したが、そうするのであればこの予算を人権まちづくりトークで講師を呼びたい町内会に使っても良いのではないかと、という話になった。予算面では、去年より抑えられた。

【中原】人権教育推進委員会という名称は、以前は同和教育推進協議会だった。草津市同和教育推進協議会という市全体の組織に入っている。当学区では、人権教育というのは同和教育に限らないということから名称を変更した。去年までは町内学習懇談会という名称だったが、人権まちづくりトークという名称に変わった。人権教育推進委員会も、草津市同和教育推進協議会の方の会合や啓発活動などの動員要請がある。

【横山】先進地研修会は中止したとのことだが、クレアホールで人権センター主催の「人権のつどい」があり参加した。来年も同様に実施されるのであれば、先進地研修会はいらないのでは。単独でやるより効果的だと思う。

【中原】町内会ごとの人権まちづくりトークも、役員以外の参加は少ないと思われるが、それでも毎年変わる役員が参加していってもらえれば、人権意識は広がっていくのではないかと。

以上